

令和2年度奈良県循環型社会推進協議会 議事概要

【開催日時】

令和3年1月28日（木）14時00分～

【開催場所】

Web 会議

【出席委員】

藤田委員、村松委員、森本委員、桐山委員、上杉委員、中道委員、
稲野委員、松岡委員、土井委員、森委員、三井委員、鈴木委員

【議 事】

- ・奈良県リサイクル認定製品の審査について
- ・奈良県廃棄物処理計画の進捗について

【議事概要】

○森本委員長

それでは、議事に移らせていただきます。まず、議題の1つ目として「奈良県リサイクル認定製品の審査について」事務局から説明をお願いします。

○事務局

（資料1及び別紙1に基づき説明）

（別紙1については、事業者に関する情報を含むため非公開）

○森本委員長

ありがとうございました。ただいまご説明のありました申請製品につきまして、皆様のご意見、ご質問をお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

（奈良県リサイクル認定製品に関する質問・意見等は、事業者に関する情報を含むため非公開）

○森本委員長

それでは認定の方に進みたいと思います。認定することに異議のある製品があればご意見をいただきたいと思います。

(その他、意見なし)

○森本委員長

今回申請のあった、継続と新規を合わせた 75 製品について、全て認定すること
でよろしいでしょうか。

(その他、意見・異議なし)

○森本委員長

それでは、75 製品全てを認定することといたします。

○森本委員長

続きまして、議題の 2 つ目として「奈良県廃棄物処理計画の進捗について」事務局から
説明をお願いします。

○事務局

(資料 2 に基づき説明)

○森本委員長

ありがとうございました。ただいまご説明のありました内容につきまして、皆様のご意
見、ご質問をお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

○中道委員

2 ページの「1 人 1 日当たりの家庭系ごみ排出量及びリサイクル率の推移」について、
平成 30 年までは数値が掲載されていますが、それ以降の推移が不明です。

ロードマップを作り、ごみ排出量の削減なども予測することができれば、目標に沿った
設備の導入などができると思います。

○事務局

目標値については資料の 1 ページをご覧ください。最新のデータである平成 30 年度ま
では現況値になります。令和 4 年度までの目標値として、事業系一般廃棄物も合わせての
量になりますが、一人 1 日あたりのごみの排出量（一廃）は「865 g / 人・日」と定めて
います。

また、リサイクル率については、平成 30 年度一般廃棄物は 16.3%、令和 4 年度目標値
については 23.0%と定め、取り組みを推進しています。

○中道委員

産業廃棄物の現況値は空欄となっている年度が多いですが、どういう理由ですか。

○事務局

産業廃棄物の実態調査は5年に1回の頻度で行われるため、このような標記になっています。

○森本委員長

このことに関連して、奈良県の人口データ（世代別等）は掲載しないのですか。

○事務局

データ元の一般廃棄物実態調査の詳細につきましては、環境省のホームページに掲載されていますが、今回の概要には掲載していません。

○森本委員長

手間にならないのであれば、奈良県廃棄物処理計画事業進捗概要に掲載する方が、見る人は見やすいと思います。

○事務局

今後掲載する方向で検討させていただきます。

○森本委員長

奈良県の人口は増えているのですか。

○事務局

市町村毎に異なりますが、全体を見ると減少しております。

○土井委員

計画3年度目ということで、ご説明いただきましたが、進捗状況が思わしくないと考えられていることはありますか。もしあれば、もう少しご説明をお願いします。

○事務局

奈良県として重点的に取り組む必要があると考えているのは、リサイクル率の向上であります。全国平均と比較して奈良県は3ポイント程度下回っておりますので、重点的に取り組む必要があると考えております。

特にプラスチックごみのリサイクル率は思わしくない状況であり、政府も市町村による

プラスチックの一括回収など、大きな動きを示しております。そのような動きを見据えながら奈良県としてどういったことができるのかなど、検討していく必要があると思います。

○森本委員長

ありがとうございました。

○鈴木委員

プラスチックごみにつきまして、奈良市の市議会でもゴミ削減の議題として、項目別削減とプラスチックごみ問題が話題となります。政府が提出しておりますプラスチック削減循環施策の中で、容器包装プラスチックと製品プラスチックを一緒に回収することが求められております。ただ、市町村としましては、2つのものが混じってしまいますと、分別の際に実際に処理することは難しいと考えています。

(奈良県の廃棄物処理計画の重点事項に、) 家庭ごみの容器包装プラスチックの再生利用量を平成27年度4,000 tから令和4年度12,000 tを目標とすることがあったと思いますが、市だけの取り組みでは目標達成は難しいと感じておりまして、県としてもご支援をお願いしたいと考えておりますが、どのようなことでお考えでしょうか。

○事務局

リサイクルを推進しようと思うと、選別を細かくする必要があると思います。これは市町村にとって負担になると考えています。

プラスチックごみといっても、様々な成分で構成されているため、それらが混ざってしまうとリサイクルの障害となります。一方、リサイクルをするために分別を細かくするとなりますと、市町村が対応できるかどうかですが、おそらく対応が難しい市町村も多いと考えています。

政府のプラスチック一括回収については、現段階では骨組のみで具体的な方法等が見えていませんが、県としては国から情報収集を行い、また県内の市町村の状況等を国に伝える必要があると考えています。

○森本委員長

プラスチックやリサイクルもそうですが、リサイクルにかかるエネルギーコストと焼却にかかるエネルギーコストを比較すると、焼却する方がエネルギーコストが小さいということもあり得ると思いますので、確かにリサイクル率を上げるというのは、数字上は良いかもしれませんが、総合的に考える必要があると思います。

○事務局

おっしゃるとおりかと思います。リサイクルできるものはリサイクルを推進し、できないものは適正に処分していくことを見える化し、市町村と県で連携し広報・情報提供をしていく必要があると思います。

○森本委員長

何でもリサイクルをするというのは大変であると容易に想像できますが、見える化されるということですので、よろしくをお願いします。その他、意見等のある委員はおられますでしょうか。

○上杉委員

基本的な問題ですが、リサイクルの推進は難しいと思いますが、目標は23%となっています。これは高すぎませんか。どこから23%という根拠が出てきたのか教えていただきたいです。

○事務局

前回の廃棄物処理計画において、家庭系ごみの容器包装プラスチックの再生利用率を増やすということ、事業系ごみのうち紙類の再生利用率を増やすということで、23%を算出いたしました。この目標値に達することができないというのが現状です。

○上杉委員

実態から出てきた目標値ということですね。

○事務局

そうです。

○上杉委員

わかりました。ありがとうございます。

○森本委員長

全国を見ると、土地柄が影響しているのかと思うのですが、奈良県の家庭から排出されるごみと東京都の家庭から排出されるごみというのは似ているのでしょうか。

○事務局

大まかには似ていると思います。奈良県（広陵町等）では、プラスチック産業が盛んに行われていますので、そういったところもあるのかなと思います。

○森本委員長

はい。わかりました。他の委員のみなさん、いかがでしょうか。

○桐山委員

9ページの「ごみ処理施設の安定的確保」の最終埋立処分場の表について、一般廃棄物処理施設の残存容量が10%となっていますが、どのような理由でしょうか。

○事務局

市町村からの報告に基づいて集計した表になります。実際に市町村では、大阪湾フェニックスでの埋立や民間の最終処分場への埋立等に移り変わっています。新たに最終処分場を設置するのは非常に難しい時代になってきていることから、奈良県内の最終処分場の埋立の残存容量は10%から一桁台に下がってくるのが予想されます。

○桐山委員

(残存容量が)10%ということですが、どこに持って行くかわからないということではなくて、大阪湾フェニックスへの埋立処理等、県内処理がなくなっていくという意味の10%ということよろしいですか。

○事務局

はい。

○鈴木委員

資料5ページの(3)エコフィード(食品残渣)の利用促進について、食品廃棄物を豚等家畜の餌にして再生利用するという事だと思いますが、豚に関しまして、豚コレラの影響で食品残渣を利用するために、非常に厳しい基準で加熱することが求められています。実際に個人事業を行っている畜産農家では、加熱処理をする必要に迫られ事業の継続が危ぶまれる現状となっており、実際にエコフィードを活用している団体が事業を維持できない現状になっています。

施策としてエコフィードの利用促進を掲げるのであれば、資料に記載のある実態調査よりも、実際にエコフィードを行っている農家が事業を継続できるような支援をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○事務局

エコフィードの利用促進につきましては、畜産課で所管しております。いただいたご意見を畜産課に伝えさせていただきます。

○森本委員長

よろしく申し上げます。その他の方、いかがでしょうか。

○村松委員

先ほどのリサイクルに関連して、紙のリサイクル率は現状どうなのか、目標の達成見込みはどうなのかを教えてください。

○事務局

紙など個々のリサイクル率について、今数値を持ち合わせておりませんので、ここで答えすることができません。

○村松委員

わかりました。

○森本委員長

ありがとうございました。その他ご意見等ありますでしょうか。

(その他、意見・質問なし)

○森本委員長

そうしましたら、以上で本日予定しておりました議題につきましては、全て終了いたしましたので、進行を事務局へお返ししたいと思います。

○事務局

森本委員長、ありがとうございました。

それでは、本日予定しておりました議題は全て終了いたしましたので、令和2年度奈良県循環型社会推進協議会を終了させていただきます。